



第 19 号
平成 17 年
6 月 発行

介護保険制度の改正にむかって

社会福祉法人りんさく福祉会

理事長 須田 滉

介護保険制度の内容の変革・骨格が変わるのは、既成事実として誰もが不思議に思わない時期に入っております。政治家も介護保険の変更には、それほど反対も賛成もしないようです。この問題が、将来日本中で少子高齢化として、大きな問題になることを知らない感じではあります。

国を治める法律がドンドン変わって行くのは、対応する国民にとっては迷惑なことです。その制度ができるときに、もつと真剣に考えてくれなくては困るのです。しかし、この「介護保険制度」を作るときから「制度」そのものが不完全だと分かりきっていました。それをだんだんと慣れさせるためのやり方なのか、それとも不完全さが分からなかったのか、いずれにしても内容を変えざるを得ないところにきているのです。

これからは時代の趨勢として「認知症（痴呆症）」の方々がますます増え続けて行くと思われるます。そして近い将来には「介護福祉の施設」は、名実ともに「認知症の施設」となつてゆくのではないのでしょうか。高齢者の時代となり、今後十年、十五年先は、そのような形で介護保険は認知症の保険という形で進むのでしょうか。

戦前戦後「死に至る病」と恐れられていた結核も新薬が開発されて解決する迄に二、三十年は要しました。認知症の解決にも、今後二十五年以上は必要とするのか、先の事はわかりませんが、いずれ人間の叡智が解決してくれるものと夢に見ながら施設の運営をしてゆきたいと思っています。

こんなに上がる利用者負担！…この実態を皆さんに理解していただいてください。

〔現行〕 → 〔見直し後〕

改正後の 保険料段階	報酬の種類	利用者 負担計	1割 負担	居住費	食費 (共通)	保険外に			
						利用者 負担計	1割 負担	居住費	食費
第1段階 生活保護 受給者等	多床室	2.5	—	—	—	2.5	—	0	—
	ユニット型個室	4.5-5.5	—	2.0-3.0	1.0	5.0	—	2.5	—
	ユニット型準個室	2.5	1.5	—	—	4.0	1.5	1.5	1.0
	従来型個室	2.5	—	—	—	4.0	1.5	1.0	—
第2段階 年金80万円 以下の者	多床室	4.0	—	—	—	3.7	—	1.0	—
	ユニット型個室	7.0-8.0	—	3.0-4.0	1.5	5.2	—	2.5	—
	ユニット型準個室	4	2.5	—	—	4.2	1.5	1.5	1.2
	従来型個室	4	—	—	—	4.2	1.5	1.5	—
第3段階 年金80万円超 266万円以下の者	多床室	4.0	—	—	—	5.5	—	1.0	—
	ユニット型個室	7.0-8.0	—	3.0-4.0	1.5	9.5	—	5.0	—
	ユニット型準個室	4	2.5	—	—	8.5	2.5	4.0	2.0
	従来型個室	4	—	—	—	8.5	2.5	4.0	—
第4段階 (266万円超の者)	多床室	5.6	3.0	—	—	8.7	2.9	1.0	—
	ユニット型個室	9.7-10.7	—	4.0-5.0	2.6	13.4	—	6.0	—
	ユニット型準個室	5.6	3.1	—	—	12.3	2.5	5.0	4.8
	従来型個室	5.6	3	—	—	12.3	2.5	5.0	—

要介護5・甲地の場合（単位：万円）

従来型施設の個室利用者は、

- ◎ 3段階の個室利用者は、**月額4.0万円が8.5万円に**、年額54万円の負担増に。
- ◎ 4段階の個室利用者は、**月額5.6万円が12.3万円に**、年額80.4万円の負担増に。

多床室利用者でも、

- ◎ 3段階の多床室利用者は、**月額4.0万円が5.5万円に**、年額18万円の負担増に。
- ◎ 4段階の多床室利用者は、**月額5.6万円が8.7万円に**、年額37.2万円の負担増に。

この表は「全国老人福祉施設協議会だより」平成17年6月号の記載より抜粋したものです。まだ大筋ではありますが、利用者様のご負担金額が所得に応じて変わるとされております。この所得に対して数段階に分類されます。これらの分類は利用者様・ご家族様が自らの段階を認識することが出来ない為、最寄りの地区保健福祉センターへ（負担限度額認定）の申請が必要となります。平成17年10月実施にあたり、8月頃から申請を受け付けるという事ですので、お忘れなく申請確認をしてください。

「お散歩」の様子

ようやく暖かい日が続く様になりました。入居者様の気分転換を図る為に、少しづつ散歩をするよう心掛けています。今回はその様子を掲載してみました。



八重桜見学（内郷白水町）5/2
八重桜が満開だと教えて頂き見学に行ってきました。



豊間海岸「塩屋崎灯台」
美空ひばり記念碑前にて撮影



美空ひばり記念碑の前で「乱れ髪」を聴き、懐かしがる様子でした。また、毎日眺めている海も、近くで見ると波の迫力・潮騒・潮風がとても新鮮であり、大変喜んで頂きました。しかしこの直後いきなりの雨に慌てて帰ってきました。



施設の中でも天気が良ければ、正面玄関前に集合して（右側の二枚の写真）、全員でラジオ体操やりハビリ体操をしたりしています。この日は、職員による「マツケンサンバ」も披露して楽しく過ごされました。

左側の写真は、二階の塩屋岬広場（多目的ホール）にあるテラスで海を眺めながら、歌を歌ったり、ゲームをしたりしました。最後はみんなでおやつを頂きました。外で食べるおやつは、また格別でした。

日光浴は、骨にカルシウムを吸収し易くする働きが有り骨を丈夫にします。適度の運動と日光浴をして頂く事で、骨折の予防にもなります。みなさんも是非試してみてください。

いわき寄席

須田医院 福島県いわき市

須田医院が開院10周年祝賀パーティを行なったとき、余興に落語家呼んだ。ほんの15分ほどだったが、会場は急に盛り上がった。それをきっかけに、須田院長は患者さんに落語を聞いて大いに笑ってもらおうと考え、2カ月に一度、須田医院主催のいわき寄席が始まった。今年で7年目、40回を数える。(現在 93回目です。)

須田院長の先輩医師である前国立郡山病院院長の勝見聰也先生と共同で落語家呼び、いわき市と郡山市の2カ所で寄席が開かれる。いわき寄席は約1時間半、ベテランの落語家が、古典や新作落語をじっくり聞かせる本格的な独演会だ。

「いまは東京でも落語をする場所が少なくて、噺ができて短時間で、腰を据えた落語はな



かなかできないそうです。だから噺家さんは自分の噺を磨く場として、快く来てくれて一生懸命やってくれます」と須田院長は、いわき寄席が長く続いた理由を話す。

寄席は無料でだれでも聞ける。院内にポスターを貼り、これまで来院したことのある多数の患者さんに、葉書で通知している。常連の愛好家もいて、毎回80~100人が聞きに来る。入院患者さんを連れて行くこともある。

「会場探しには毎回苦労しますが、おかげで診療の合間の話題になって、患者さんとのコミュニケーションが円滑にいつてます。笑いは心がゆったりして健康によいのは当然です。落語を聞いて、患者さんに大いに笑って楽しんでほしいと思っています」と須田院長。

日本アップジョン(株)「SCOPE」平成八年六月号に掲載から



太神楽
鏡味 正二師匠

本名 松田 正史
昭和47年12月4日生まれ
埼玉県新座市出身

平成 10年 3月
鏡味繁二郎先生へ入門、名前を正二郎

本人の一言「楽しんでもらえるような芸人になりたい」



落語家
春風亭昇輔師匠

本名 千頭 弘典
昭和 43年 1月 30日生まれ
高知県高知市出身

平成 4年 8月
師匠柳昇に入門、「柳吾」で前座になる。
平成 4年 9月
浅草演芸ホールで初高座、演題「狸札」。
平成 8年 9月
二ツ目に昇進「昇輔」に改名。
平成 15年 6月
春風亭鯉昇門下へ移籍。



落語家
桂 竹丸師匠

本名 徳永 良治
昭和 32年 3月 26日生まれ
鹿児島県鹿屋市出身

昭和 56年 1月
四代目桂米丸に入門
昭和 60年 5月 二ツ目昇進
平成 05年 8月 真打昇進
平成 02年
NHK 新人演芸大賞入賞
平成 03年
国立演芸場「花形演芸会」銀賞受賞
平成 3年
NHK 新人演芸大賞最優

平成十七年八月九日(火)
午後六時三十分開演
いわき市文化センター

第九十三回「いわきの納涼寄席」の案内

当日は「いわき踊り」があり、会場周辺の混雑が予測されます。また交通制限等も御座いますので余裕を持ってお越しください。

ご家族、お友達お誘いの上おいで下さい

笑う門には福来るといいます。
笑いは家族円満

介護老人福祉施設 『望洋荘』
職員紹介 & コメント集



介護士 千葉 利恵子

私が入社して九ヶ月が経ちました。初めての仕事で戸惑う事ばかりでしたが、先輩スタッフのアドバイスを受け、少しずつ慣れてきました。この仕事をして「介護」というものは、奥の深いものだと感じました。「命」の重さを感じます。

日々、勉強し、反省をする毎日です。未熟者ではありますが、利用者様が安心して過ごせますように、緊張感・笑顔を忘れず頑張っていきたいと思えます。よろしくお願い致します。

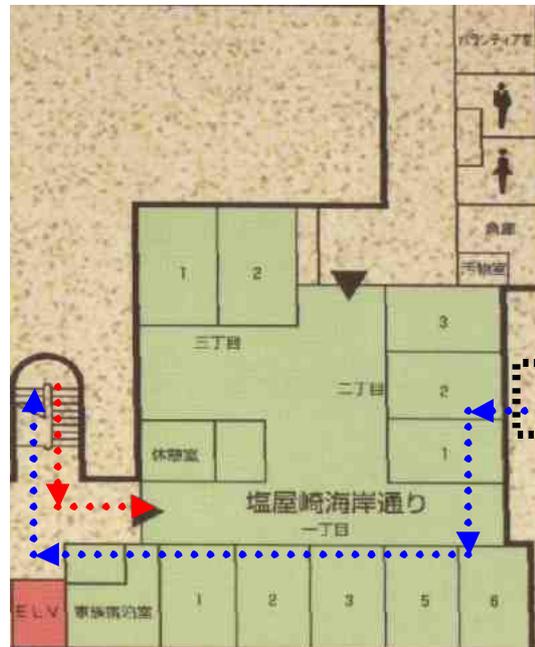
今月の言葉その (倫理研究所編纂語集から)

学びの秘訣は そのまま受ける

コップに古い水が残っていたら新しい水は入らない。学ぶことは心のコップを一旦空にすることだ。いっぱい知識や経験など捨ててみてまえ。新たな視野が開けよう。

『望洋荘』に住んでみて 第六話

『望洋荘』の各部門の内部の紹介をします。今月は「塩屋崎海岸通り」です。



塩屋崎海岸通りへは、正面玄関を入り直ぐ左へ曲がり奥のエレベーターホール右側の階段を二階に上がり左に向きますと入口があります。ホールに入ると掲示板には多くの折り紙細工が飾られています。さらに中央に行きますと、図書コーナーがあり入居者様が自由に本を読む事が出来ます。

塩屋崎海岸通りユニットは、短期入所される方々が利用されるユニットです。定員は十名であり、七人の職員が対応しております。開設から十七名の方が利用しており、利用日数は様々で一泊〜三十泊まで利用できます。

現在の利用率ですが、(六月一日〜三十日)二十五人の方が利用されており、七四・三%の利用率です。

居室部門として(塩屋崎ユニット) 塩屋崎海岸通りには各室トイレを完備した一丁目一、二、三、五、六番地の五つの居室三丁目一、二番地の二つの居室さらに二丁目には、お風呂とトイレを完備した一、二、三番地の三つの居室があり、全部で十居室があります。

利用者様の様子ですが、日中はリハビリ体操やボール遊び・ゲーム、時にはベランダにて日光浴をしながら歌を歌ったり毎日楽しく過ごしています。また、利用者様から昔の話や料理のコツや生活の知恵など色々教えて戴く事もあり利用者様同士や職員共に情報交換の場にもなっています。毎日のように利用者様の顔ぶれが変わりますが、利用者様の滞在期間中は、楽しく快適に過ごせる様、職員が協力し合って行きたいと思えます。

編集後記

『望洋荘』便り
平成十七年六月一日発行
発行所 いわき市

平豊間字合磯三十九番地
社会福祉法人 りんさく福祉会

介護老人福祉施設 望洋荘

電話 (0246) 55 7373
FAX (0246) 55 7255